

ざっくりと言うと

- 食品衛生法改正で関わる**縦割り行政の課題に対する象徴**の問題だった。**食品衛生**は健康福祉局、**農家**に関しては農林水産局、**地域経済**への影響は商工労働局、**地域振興**は地域政策局、**道の駅の窓口**は土木建築局が、**設置・管理**は各市町が担っている。
- 結果として、たらいまわしにされ責任権限が明確にならない現実があった。
- 浅漬けだけではなく梅干しなど古漬け、らっきょうなども同様の漬物適用になるが**地方の現場を国会議員は知っているのか？**
- 神石高原町は**50万円補助金**を出し、地域の声を聴く政策がなされている。課題認識として道の駅**経営に大きな打撃**、高齢者が事業をやめて**元気な高齢者の減少**、**耕作放棄地も増え**、**地域の衰退が広がり**、複数部局にまたがる問題に対して**議員に相談しても法改正だから仕方ない**で話が通じないという相談から発起。

関係各局の課題

健康福祉局	農家をやめる事で健康寿命が低減し 医療費・介護費増大リスク
農林水産局	耕作放棄増加、生産能力の低下による 食料自給率低下リスク
商工労働局	神石高原町道の駅によれば 売上高約5%1500万円が失われる
地域政策局	道の駅の 魅力集客低下 、伝統的な 食文化保護、継承 をどう考えていくのか？
土木建築局	売上比率などの データ把握・分析等の部署はなく 、各道の駅に問い合わせで情報収集するしかない。

秋田県いぶりがっこの対策を通達

- 法改正きっかけに製造をやめる人が増えた(約4割)が一転継続の意思表示となった。
- **県と市合計で2分の1補助し、補助対象外の事業者も4割補助の助成。**
- 新規就農者向けの農業研修や6次産業化支援を行い**いぶりがっこづくりを学べるコースを設置し伝統継承者の育成**を始める。

知事答弁

- 共同利用施設を導入する事で多くの生産者が少ない費用負担で施設を利用しやすくする。
- 研修会の開催や共同施設の整備などに市町や関係者と協力しながら取り組みたい。

24年2月24日

知事が明確な答弁をするも不十分なので今後ともヒアリングしていく事と県内の各地域の先生方にも相談していく。



冊子(不定期発行)にてその他の情報も掲載しています。ご希望の方は下記連絡先までお問い合わせください。

(有)DC開発研究所 Tel. 084-999-3166(代表)



意見広告

村上 栄二の
ここだけの話
連載

今月のテーマ

道の駅は
縦割り行政の象徴
地域の漬物を救え



賃貸マンション、月極駐車場
「空き」あります!

Consort homes

(有)DC開発研究所
お問い合わせ
Tel. 084-922-7001
〒720-0052 福山市東町2-3-2